

# とんがらし通信



～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・活動紹介  
(BBQ コンテスト、大亀山公園ほか)
- ・交換研修、交流実習報告
- ・Close-up!      ・職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室  
発行責任者 山口 収  
発行日 2024年7月25日  
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16  
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752  
E-mail [sendai@tsudoinoie.or.jp](mailto:sendai@tsudoinoie.or.jp)  
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



## 優生思想の深く大きな影 の巻

今年は春が過ぎたらあつという間に夏が来たような暑い日が連日続いています。先日、その暑さを吹き飛ばすような熱い歓声が、永田町の最高裁判所前に沸き起こりました。7月3日、待ちに待った画期的な判決が言い渡されました。旧優生保護法に基づいて実施された強制不妊手術に対する国家賠償責任訴訟で、最高裁が長年被害者の前に『時の壁』として立ちはだかつてきた除斥期間の適用を制限する判断を示し、国に対して被害者への損害賠償の支払いを命じたのです。

平成30年1月30日、宮城県に住む60代の女性が『旧優生保護法の下で不妊手術を強要され、一方的に尊厳を奪われた』として、国を相手取り謝罪と補償を求める全国初の訴訟を起こしました。しょうがいゆえに発する力が弱く長いこと苦しみ続けてきた末の提訴は、その後大きなうねりとなり同様の訴えが全国へと広がりました。

我が国の優生政策は、戦時中である昭和15年に制定された『国民優生法』からすでに始まっていましたが、戦争終結後の昭和23年に『旧優生保護法』が施行されると、不妊手術・人工中絶手術の実施に拍車がかかります。産婦人科医でもあった参議院議員の谷口弥三郎が、当時人口増加抑止のために頻繁に行われていた違法かつ不衛生で危険な墮胎による女性の健康被害への対策として法案策定・成立させたとされていますが、その第1条（法律の目的）には『この法律は、優生上の見地から不良な子孫の出生を防止するとともに、母性の生命健康を保護することを目的とする』と書かれており、強制不妊手術を合法化するための法律だったことは明らかです。第3条（医師の認定による優生手術）には『本人の同意並びに配偶者があるときはその同意を得て、任意に…』と記してありながら、『但し、未成年者、精神病者又は精神薄弱者についてはこの限りでない』と規定しているのです。これにより、各都道府県は競うようにしょうがいのある方の強制不妊手術を実施していきます。手術のピークは法施行後から昭和40年代と見られますが、最後の1件が行われたのは平成4年でした。法施行後約50年もの長きにわたりしょうがいのある方の尊厳を蔑ろにし、人権を蹂躪し続けてきた旧優生保護法は、平成8年に優生思想の部分削除するかたちで法改正が行われ、現行の『母体保護法』に姿を変えました。

平成31年4月、『旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律』が議員立法によりようやく成立しました。前文には旧優生保護法の施行から母体保護法への法改正までの間に、多くの方々が特定の疾病やしょうがいを理由に強制不妊手術や放射線照射を強いられ心身に多大な苦痛を受けてきたことに対して、『我々は、それぞれの立場において、真摯に反省し、心から深くおわびする』との記載が初めてなされました。前文ではさらに、『今後これらの方々々の名誉と尊厳が重んぜられるとともに、このような事態を二度と繰り返すことのないよう、全ての国民が疾病や障害の有無によって分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向けて、努力を尽くす決意を新たにすることである。ここに国がこの問題に誠実に対応していく立場にあることを深く自覚し、この法律を制定する』としています。これは確かに一歩前進でしたが、しかし…しかし。一時金は『損害賠償責任を前提とせず一律320万円』というものでした。辛く苦しい数十年を、いやこの先も苦しめる年月を考えた時に、この額の妥当性は全く感じられません。さらに、一時金支給に関する当事者への個別通知も滞り、約25,000人とされる強制不妊手術被害者のうち、支給認定を受けたのはわずか4%にとどまっているのです。

旧優生保護法が撤廃され、一時金支給法が施行され…そしてこのたびようやく国家賠償責任が認められましたが、当事者の苦しみは決して癒えるものではありません。また、この間にも多くの人権侵害や差別が行われてきたことを私たちは忘れてはいけません。前々年にハンセン病国家賠償訴訟の熊本地裁判決が確定したばかりの平成15年には、ハンセン病回復者の温泉施設への宿泊拒否問題が大きく報道されました。また、一昨年には北海道の知的障害者入所施設において、同居や結婚をしてグループホームに移行することを希望した男女に対し施設側から不妊手術が提案され、少なくとも20人以上が手術を受けていたことが明らかになりました。そして8年前の津久井やまゆり園事件…。長年にわたる国策としての優生思想は、社会に個人に深く大きな影を落としていることを私たちは自覚すべきだと思います。（管理者 山口 収）

# BBQ コンテスト

5月11日の休日開館日に今年も仙台つどいの家恒例のバーベキューコンテストを開催しました！！

各グループごとに何を作るか話し合い、焼き鳥に野菜の串焼き、サンドイッチやピザ、デザートにはフルーチェとボリュームたっぷりのメニューになりました♪

この日は天気も良く、外では炭をおこし焼き鳥を焼いているくろみグループの愛子さんと春さん。いい匂いに誘われ、みんな外に集まってきています。さん

しょグループの彩也佳さんも、はじめは寝ていましたが、炭火で焼く焼き鳥の匂いで目をパッチリと開けて鼻をピクピクさせています。もみじグループの達紀さんは、汗をかきながら焼き物をするみんなに手を叩いて応援です。

普段はパンを作って販売しているめいぶるグループは、パン生地をアレンジしてみんなが食べやすいピザを作りました。ピザ生地は薄くのばす作業が難しく、生地が破けないように優しく、優しく伸ばして広げます。ピザソースを塗り、みんなで選んだ具材を思い思いに並べました。明日美さんはバランスよく並べますが、苦手な玉ねぎは少な目にしてソーセージとチーズはたっぷりと（笑）

最後の工程の焼き上げは七海さんが担当です。いつもパンを焼いているオーブンで焼き色を何度もチェックしながら、こんがりときれいに焼いてくれました。（さすが七海さん!(^)!）仙つのもみんなもおかわりをしてたくさん食べてくれました。そして好

評だったピザは、な・なんと・・・**商品化が決定！！**

今はまだ準備段階ですが、近々ショップに並ぶのでぜひみなさん買いに来てくださ〜い(〜)♪  
(記：菊地)



# 大亀山公園へ行ってきました～



大亀山公園へ行ってきました！！メンバーは阿部元就さん、安藤共博さん、工藤望さんの3人です。

当日は天候に恵まれず生憎の雨・・・。公園で思う存分遊ぶのは難しいかな？と思い近くにある「とみやど」というおしゃれなカフェや骨董品のお店が並んでいる所へ行きました。

とみやどに着いてから何を食べたいか相談すると「中華屋 丹心」という街中華屋へ元就さんが入っていったのでそこに決めました。望さんはカウンター席に座って調理の様子を興味津々に見ていた時、楽しみだったのか思わず笑顔がこぼれていました。店員さんから「笑顔が素敵ですね」とお話をいただきほっこりしました。望さんと元就さんは餃子を、共博さんはチャーシューメンを美味しくいただき、デザートはみんなでジェラートを食べました。

お腹を満たしたところで今回の外出の目的地、大亀山公園へ行きました。まだ霧雨が降り続いていましたが果敢にお散歩を決行、元就さんは何度か行ったことがあり身体が道を覚えているのか山道に挑んでいます。

山の上にある「鹿島天足別神宮」という神社が目的地だったようで、お参りしてきました！願い事が叶うといいですね。

望さんはそり滑りに挑戦、地面が濡れていてスピードが出たためかなりスリリングでした。

生憎の雨でしたが、美味しいものを食べたりして楽しくお出かけすることが出来ました。でも今度は快晴のなか思う存分公園で遊べるといいですね！（記：松原）



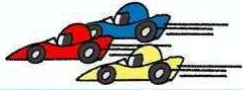
## とっておきの音楽祭にも行ってきました～！

6月2日の日曜日、仙台市中心部で開催された「とっておきの音楽祭」へもみじグループより大野夏海さん・永坂葵さん、けやきグループより奥山陽介さん・高橋智子さんの4名が行ってきました！しょうがいのある人もない人も、一緒に音楽を楽しみ心のバリアフリーを目指すこちらのイベントは、2001年に仙台から始まり、今では全国20カ所で開催されるほどの大規模な音楽祭です。会場付近へ到着すると、音楽はもちろん人の笑い声など、さまざまな「音」で賑わっており、利用者の皆さんも興味津々な様子。まずは錦町公園で行われていたつどいの家アプリの皆さんによる「和道楽くらぶとアプリの仲間たち」から！歌謡曲や童謡に合わせてアプリの利用者さん方が思い思いに身体を動かしながら

楽器を鳴らし、そこへ加わるように4人も楽しみました♪さんしょグループ職員の智昭さんも「ゆいまーる（事業所間フォロー）」で支援に入り、共に参加していました。その後はロックやゴスペルなど、普段耳にする事の少ないジャンルも聴いて回り、最後は龍の演舞に合わせて太鼓を演奏する「しらとり太鼓」を楽しみました。

アプリの利用者さんと一緒にタンバリンを鳴らそうとする葵さん、ゴスペルに合わせて手を動かす夏海さん、身体を左右に揺らしノリノリな智子さん、太鼓の演奏で楽しくなり隣の方と交流する陽介さん。音楽祭を通じて4人のさまざまな表情を見ることができました。来年の開催も楽しみです！（記：熊谷）





# スーパーフォーミュラ選手権 観戦！

6月22日(土)にスポーツランド SUGO で開催された『2024 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦 東北大会』を、佐々木健郎さん・篠崎春さんで観戦に行きました。二人は大の車好き！サーキットに着くと、「ブオン！ブオーン！」とレースカーの大きなエンジン音が聞こえてきます。二人は聞き耳を立てて、周りを見渡します。レースが見やすいサーキットのスタンド席に着くと、パドックから「ブオン！ブオン！ブオン！ブオン！」とエンジンの爆音が響いてきます。その音に二人は目を大きく開けて、ワクワクとしている様子。いざ、レースカーが走り出すと、爆音と共に目の前のコースを何台もレースカーが通り過ぎていきます。早すぎて目では追えず、エンジンの爆音を楽しん



でいる健郎さん。目をキョロキョロさせてレースカーを目で追っている春さん。二人とも表情は真剣そのもので、集中してレースを見つめていました。

二人の観戦の様子を見ていると、改めて『車が好きなだね』と分かる、楽しいレース観戦となりました。また、【スポーツランド SUGO】に来てレースを観戦しようね(〇)/ (記：佐藤和)



## もみじの New face? アゲハ蝶



もみじグループでは毎年園芸や野菜づくりをしています。その中で今年は良い香りのするハーブも育てようとなり、いくつか購入し植えていました。ある日水やりをしていると、「ルー」というハーブに幼虫を数匹発見！調べてみるとアゲハ蝶の幼虫でした。

せっかくなので、みんなで育てよう！と飼うことに決めました。アゲハ蝶の幼虫はとっても食いしん坊で、まるで‘はらぺこあおむし’のように、葉っぱを食べて日に日に大きくなりました。毎日みんなで観察していると、だんだんと愛着も湧いてきて、いつしかグループの垣根を越えて利用者・職員問わず「青虫は元気？」と様子を見に来るようになっていました。

無事にさなぎになり、待つこと数日。見事、アゲハ蝶に羽化しました！とってもきれいな羽を広げる姿に、利用者もそっと手を伸ばしたり、羽をパタパタとする姿を笑顔で見つめていたりしていました。そしてもみじの部屋から元気に羽ばたいていったアゲハ蝶、これで終わりではありません！なんと数日後、またもみじのハーブに卵を産みに来てくれたのです！今は卵から幼虫になり、大切に育てています。それでも寄生などにより、全ての幼虫がアゲハ蝶になるわけではありませんでした。命の尊さも教えてもらったアゲハ蝶、私たちにとっても貴重な経験となりました。山椒の木も買ったので、また来年もアゲハ蝶が飛んできてくれるといいな、と思います。(記：淡路)





## 交換研修 in つどいの家・コペル

6月4日、5日の2日間つどいの家・コペルに交換研修に行かせていただきました。私はブドリという部屋で2日間過ごしました。研修前日は緊張からあまり睡眠も取れない状態でしたが、皆さんにとっても温かく迎え入れていただき安心して過ごすことができました。2日間を通して、積極的にコミュニケーションをとるようにしたことで、少しずつ受け入れてもらうことができ、利用者さん方の表情がどんどん柔らかくなっていくことがとても嬉しかったです。初めてお会いする利用者さん方ということで、圧倒されてしまう場面もありましたが、1人1人の個性を強く感じながら、ゆったりと交流させていただき、新たな視点を得る良い機会になりました。今回このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

(記：齋藤)



## 研修報告 訪問の家集

7月3日～5日の3日間、神奈川県を訪問の家集で研修に入らせていただきました。

利用者さんとの向き合い方や意思の汲み取り方はつどいの家と共通している部分が多かったのですが、支援や活動のスタイルは異なる部分が多いと感じました。訪問の家集では、利用者さんが不安定になる要因を排除する支援や利用者さんが達成感を感じられる活動に重きを置かれているように感じました。活動が敢えてパターン化されていたり、利用者さんの落ち着いた環境が守られていたりして、それが利用者さんの心の安定につながっていました。また、作業の種類が充実しており、パン作りをはじめ、缶バッジやマスコット等、様々な製品を幅広いグループの利用者さんが作っています。その製品が完成し、販売され、多くの人の手元に渡ることで、利用者さんは達成感や自己有用感を得られていました。

不安定になる要因を排除する工夫を凝らすことや、達成感を得られる活動を充実させることは、一人一人が楽しい活動をより楽しく感じられることにもつながると考えられます。研修で学ばせていただいた手段も取り入れ、つどいの家を利用者さんにとってより安心してきて充実した時間を過ごせる、通う意味のある場所にできればと考えました

(記：菅原)



Close-up!

あんどろともひろ  
安藤共博さん

今回、めいぷるグループの安藤共博さんを紹介합니다。めいぷるではショップを構えてパンや焼菓子を販売しています。その中でも、食器を磨かせたら天下一品 ✨かごいっぱい食器も水滴一つ残らず磨き上げてくれるのが共博さんです。そして、その繊細な手つきでパンもキレイに丸めてくれます。パンは湿度や気温によって手触りも変わってくるのですが、共博さんの手にかかれば素敵なパンの生地ができあがります！



共博さんは色々な方と分け隔てなくコミュニケーションを取ります。パンで鍛えられた(?) その手で肩もみをしてくれます！ 疲れた職員の身体もほぐしてくれます。

そんな共博さん、耳は聞こえないため手話やジェスチャーでコミュニケーションを取りますが、心で聴こえているようで話しかけるとうなずいてくれることも！ ぜひ、たくさん話しかけてその魅力に触れてください！ 癒されますよ 😊 ショップにもぜひおこしく下さい！ お待ちしています 📦 (記：小川)



職員コラム

よこはし ゆ み  
横橋裕美さん



3月から調理補助として勤務しています横橋裕美です。職員コラムの話を読んだとき、「参考にと。。。」と歴代のとんがらし通信を拝見させていただくと、見るにつれてコラム以外の皆さんの活動報告や成人式での一コマ、close-up のコーナーなど、皆さんの意外な素顔にも触れることができました。新たな発見の連続で、気づいたら熟読してしまいました(笑) 勝手ながら、皆さんを身近に感じる事ができ有難く思っております。

話は変わり、私の家族は夫と長男(5年生)、次男(年長)の4人です。先日は長男が野外活動で泉ヶ岳へ行ってきました。感想は「疲れたけど楽しかった～」と言っており、これもまた一ついい経験をさせてもらったと思っています。今年の夏休みも、家族でたくさんの思い出を作りたいなあと思う今日この頃。日々生活できることに感謝を忘れずに過ごしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



# スケジュール schedule

## 令和6年8月



- 3日(土) 休日開館日(夏まつり)
- 5日(月) 医療的ケア安全委員会
- 8日(木) 音楽療法①  
生け花①
- 11日(日) イエローレシート
- 15日(木) 防災ネットワーク訓練
- 21日(水) 職員会議、施設懇談会
- 22日(木) 仙つ権利擁護委員会、生け花②
- 26日(月) ケース会議 13:30 降所
- 29日(木) 音楽療法②
- 30日(金) 法人防災委員会③



## 令和6年9月

- 5日(木) 音楽療法①、生け花①
- 9日(木) 医療的ケア安全委員会
- 11日(水) イエローレシート
- 12日(木) はたちを祝う会
- 13日(金) 防災ネットワーク訓練
- 14日(土) 休日開館日
- 19日(木) 音楽療法②、生け花②
- 20日(金) 職員会議、施設懇談会
- 23日(月) 休日開館日
- 25日(水) 法人権利擁護・虐待防止委員会
- 26日(木) ケース会議 13:30 降所

# ボランティアとして協力して頂いた皆様 ご協力ありがとうございます

(令和6年5月11日～令和6年7月12日まで)

吉田さん、平さん、本田さん、毛馬内さん

## 見学・来訪者など

アグリ仙台、音楽療法：向井田先生・山崎先生・澁谷先生、日本テクノ、生け花：濱谷先生、ダンス：早坂先生、ダイエイミート、ライムライト、Tagomaru、ヤクルト、ピーススマイル、サニースポット、サトー商会、ほまれフーズ、ジャズダンス Bloom、マルキ水産、佐藤精肉店、鳴子福祉用具専門店、UCC、風の郷工房、まんさく工房、ダスキン、仙台大気堂、ホシザキ、杜の都産業保健会、ツクイ若林、仙台訪問調査センター、菊電社、幸町復興太鼓、共栄防災、仙台ひまわり訪問看護

法人職員：彩乃、佐藤、飯田、菊地、福地、坂本、菊地、滑沢、高杉、半沢、菅原、愛里、三浦、小原、佐々木、鈴木、小野、渡部、大累、小宅、今野、片桐ほか多数（以上、ご芳名順不同）

## にこりほっと



現在もみじではアゲハ蝶の幼虫を育てています。先日、その中の1匹がサナギから蝶に孵りました。外に放して2日後、もみじで栽培しているアゲハの幼虫の餌(植物のルー)に卵を産みに帰ってきました。カゴの中にいる時に羽に傷がついていて、すぐに「あの子だ！」と嬉しい気持ちになりました。その時に産んでいった卵を大事に育てて、蝶になるまで大切にみんな育てようと思います。

## 眠っているタオルありませんか～？

全国より沢山のタオルありがとうございました。まだまだ活動で使用するタオルを募集しております。ぜひご寄付よろしくお願ひします！

## 缶回収

期間中の納品はありませんでした。



## 編集後記

皆さん梅雨はどう過ごしていますか？私は梅雨の楽しみ方、雨の日の楽しみ方が分かりません。休日に雨が降っていると、大抵は普段食べる食品の買い物だけで終わってしまいます。皆さんは雨の日の楽しい過ごし方ありますか？何か良い雨の日の過ごし方があったら教えてください。  
(記：齋藤)



令和6年度

# 仙台つどいの家

# 夏まつり

## ○日時

令和6年8月3日(土) 15:30~20:00

## ○会場

仙台つどいの家

(仙台市宮城野区幸町3丁目12-16)

(雨天時:仙台つどいの家館内、交流ホールにて行います)

JR 仙台駅前バス 19 番のりば「東仙台営業所前行」乗車。「幸町5丁目」「青葉病院・幸町市民センター入口」下車、徒歩5分



## ○出店

焼きそば、焼き鳥、かき氷、

生ビール、酎ハイ、枝豆、水ヨーヨー など

## ○ステージ出演

幸南復興太鼓、光(すずめ踊り)、リトルスターバトン

宮城学院女子大学よさこい部、東北高校千アリーダー部 他

## ○入場無料(※飲食代は別途かかります)

★ディズニーランドペアチケットなどが当たる

なんと  
今年は!

超!豪華スペシャル抽選会があります★

# ARTWAY Duo

令和6年

8月28日(水)

## コンサート

10:00開場/10:30開演

入場料 500円

(クッキー、ドリンク付き)

場所

仙台つどいの家

※参加をご希望の方は、  
8月21日(水)までに、  
下記の連絡先へご連絡ください。  
お車でお越しの方は、その旨もお伝えく  
ださい。

【お問い合わせ時間】

9:00~17:00

(月~金曜日)

【仙台つどいの家】

仙台市宮城野区幸町3丁目12-16

TEL:022-293-3751

FAX:022-293-3752

(担当:和仁、淡路)

ARTWAY Duo

(アートウェイ デュオ)

演奏者(タトル・ヘンリ&木下順子)

タトル・ヘンリ:仙台フィルハーモニー管弦楽団バイ  
オリン奏者

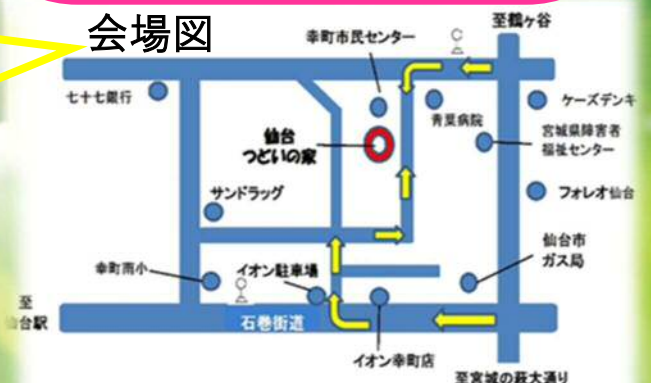
2005年に結成され、夫婦デュオとして仙  
台・東京・スロバキアなどで演奏活動を開  
始し、数多くの演奏活動の中で、チャーティ  
ー、ボランティアにも力を入れて、人々に親  
しまれて来ました。

スロバキア大統領夫妻初来日の際は、御  
前演奏をするなど、日本とスロバキアの架  
け橋になるべく更に活動を続けています。

### ▼アクセス

JR 仙台駅前バス 19 番のりば  
「東仙台営業所前行」乗車。  
「幸町 5 丁目」「青葉病院・幸町市民センター  
入口」下車、徒歩5分

### 会場図



主催:仙台つどいの家

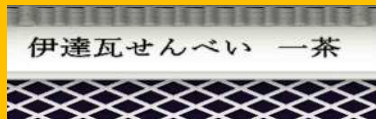
# 第三回 つどいマルシェ

in 仙台つどいの家

2024 10/12 (土) 10:30~14:00



- ☆ 伊達瓦せんべい 一茶
  - ☆ 酒のかわしま
  - ☆ 仙台みやこがね本舗
  - ☆ ラーメン味よし
  - ☆ カレーショップ桜蔵 (さくら)
  - ☆ フォンテーヌ
  - ☆ 仙台つどいの家
- ミニバザー・野菜市・パン販売  
 軽食 (BBQ など)・カフェ賢治 など…



※会場に飲食ブース設置予定しています。テイクアウトもできます。

※雨天開催予定

問い合わせ  
 社会福祉法人つどいの家 仙台つどいの家  
 仙台市宮城野区幸町3丁目12番16号  
 TEL:022-293-3751 FAX:022-293-3752  
 担当:小沢、佐藤(和仁)、山口